

「ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査 ～レンタカーを利用しない観光客のニーズから考える移動手段～」について

沖縄振興開発金融公庫調査部では、「車(レンタカー)を利用しない観光客が、沖縄観光を楽しむための移動手段」に焦点を当てた調査研究を、公益財団法人日本交通公社へ委託して実施しました。

本記者発表では、「ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査(結果の要約)」と、その結果も踏まえて取りまとめた「今後の沖縄観光における二次交通についての提言(骨子)」について報告いたします。

なお、本調査研究の概要は、別紙付属資料をご参照ください。また、詳細版は今後、「公庫レポート」として取りまとめ、関係機関への配布を予定しております。

調査結果のポイント

ポストコロナ時代における沖縄観光の二次交通に関する調査（結果の要約）

(図表1～7)

■「沖縄は車なしでは楽しめない」といったイメージが定着し、車を利用しない沖縄旅行の経験の共有（発信）も不足

- 旅行の計画時における、車を使用しない便利な県内移動情報が不足
- 特に子連れの車なし旅行について、旅行者の実体験に基づく情報が得られない
- 沖縄旅行は、車がないと周遊が楽しめないというイメージが定着
- 車なしの旅行でも、事前に計画を立てていれば、相応の満足感を得られる
- 沖縄のような、車での移動が主となる観光地であっても、「車以外の交通手段で旅行ができる」、あるいは「その地域に魅力が感じられれば」車の運転に抵抗がある人や免許を持っていない人にも旅行先として選ばれる

■機動的なラストワンマイル^{※1} 手段の不足により、行きたい場所に行けなかつた旅行者も存在

- 徒歩20～30分程度の距離のスポットまで、機動的なラストワンマイル手段がないため、訪問を断念した
- 未就学児を含む家族連れは、他の同行者グループに比べて旅行先での車を使わない移動に関して不便を感じる場面が多い
- ワンマイル交通サービスの導入は移動の総量を増加させる(今まで行けなかつた場所に行ける)
- トウクトウク^{※2} や電動キックボードは、移動そのものが楽しめる、まさに沖縄に合ったサービスとして打ち出すことが可能(雨天・荒天時は使用が難しい)
- 沖縄で利用したいラストワンマイルの移動手段としては、電動のレンタサイクルが最も多い
- 未就学児を含む家族連れは利用したいワンマイル交通として、他の同行者と比べ、特にカーゴバイク^{※3}を選択

※1 本調査では「宿泊地や主要観光地から、徒歩30分程度の移動(例：飲食店に行く、コンビニや買い物に行く、次の観光スポットに移動する等)」をラストワンマイルと定義

※2 東南アジア等で多く利用されている三輪自動車のこと

※3 大きな荷物や子供を乗せて運搬できる自転車のこと

■旅行者は旅行先での移動において「安全」「安心」「快適」「定時制」を重視

- 旅行先の移動で重視することは、「安全」「安心」「快適」「定時制」
- 情報収集時では、「乗り場情報」「時刻表」「リアルタイム運行状況」といった公共交通の基本的な情報が見つけにくいことが課題
- タクシー配車アプリは運転手や到着時間等が可視化される安心感もあり若年層の利用が多い
- 配車アプリによるデータ活用や相乗りサービス等、新たな取組によって、利用者の利便性を高めるとともに、企業としても収益性を高め、若い世代の運輸業への就業にもつなげたい

■ 地域×交通事業者や交通事業者間のコラボに可能性

- 地域との連携や交通サービス同士の連携は地域としても事業者としてもポテンシャルがあり、観光客の利便性も向上させるため、今後の連携も視野に入れている
 - 自由経路型の AI オンデマンド交通※は、観光地での導入も可能であるとともに、地元事業者が運行を担うため、利用者の利便性向上に加え、地元の交通事業者の安定収入に寄与
- ※「オンデマンド交通」とは、経路・乗降地点・時刻のいずれか、あるいはすべてに柔軟性を持たせることで、利用者の要求に応えて運行する乗合型の公共交通サービス形態であり、「AI オンデマンド交通」は、利用者の予約に応じて、AI が選ぶ最適な運行ルートや配車をリアルタイムに提供するオンデマンド交通サービス

■ 現行制度の柔軟な運用により、旅行者や地元事業者に便益

- AI オンデマンド交通の mobi※は現在、道路運送法第 21 条における期間限定の「実証実験」による運行となっている
 - Uber のような運転手の顔が見えるライドシェアサービスは、旅行者に一定の魅力がある
- ※「mobi(モビ)」は、交通サービス等を提供する WILLER (株)と KDDI(株)が設立した Community Mobility(株)が提供する、エリア定額乗り放題の交通サービス

今後の沖縄観光における二次交通についての提言（骨子）

(図表 8)

1. 「レンタカーを使わない沖縄旅行」の“実体験”情報も交えた発信強化による旅行者マインドの転換

- ✓ レンタカーを使わない沖縄旅行の、便利さや不便さも含めた、「実体験」の発信を推進
 - ・ SNS 投稿推進、リアルな旅の報告の発信 等

2. “沖縄にマッチした”“環境に優しい”ラストワンマイル交通サービスの充実

- ✓ 機動力の高い移動サービスの充実による周遊促進
 - ・ 電動レンタサイクル、電動キックボード 等
- ✓ 未就学児を含む家族連れへの対応
 - ・ カーゴバイク 等
- ✓ 沖縄特有の天気(雨天の多さ、炎天)への対応
 - ・ オンデマンド交通 (mobi 等)
- ✓ 沖縄ならではの、移動そのものの楽しさの提供
 - ・ トウクトウ 等

3. 快適な移動を担保するインフラ整備

- ✓ 車以外の移動に優しい道路整備
 - ・ バス専用レーン、自転車専用レーン
- ✓ 車なし移動の所要時間や料金イメージの提示
 - ・ 主要スポット間の移動時間マップ、配車アプリ推進
- ✓ 交通情報の集約・連携(Google マップ等)
 - ・ バス位置情報の可視化、タクシーやレンタサイクル等あらゆる二次交通情報の一元化
- ✓ バス停の刷新
 - ・ 屋根・ベンチの設置 (炎天・雨天対応)、バス停 DX (運行情報、ホテル・観光地案内)

4. 地域や事業者間連携による最適化

- ✓ 交通事業者間連携、地域 × 交通事業者連携
 - ・ 地域×交通事業者連携商品、タクシー×電動キックボード商品、AI オンデマンド交通導入

5. 制度面における検討

- ✓ 利便性や柔軟性の高いオンデマンド交通の導入
 - ・ オンデマンド交通の更なる展開
- ✓ タクシー等の少ない地域におけるライドシェアの実用に向けた検討
 - ・ ライドシェアサービスの試験的な実施

[調査内容についての問い合わせ先]



調査部 地域連携情報室 (担当 : 伊東)

沖縄県那覇市おもろまち 1-2-26

電話 : 098-941-1853 FAX : 098-941-1920

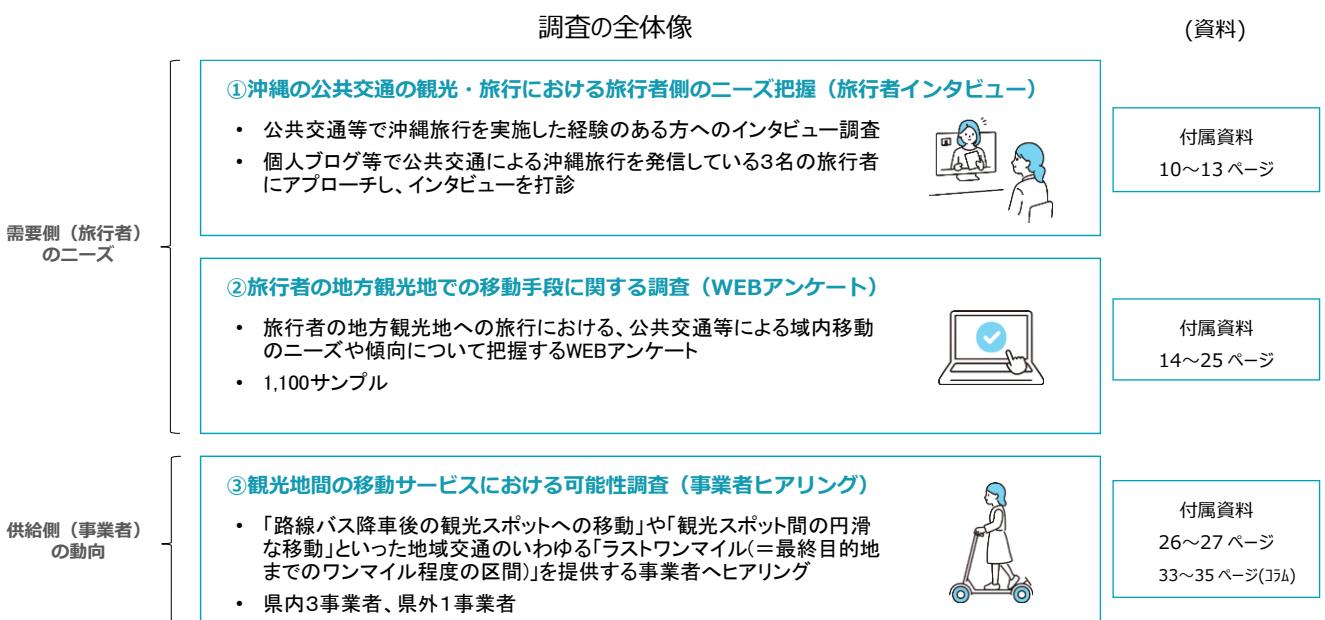
調査概要と調査結果

(1) 背景・目的

- ✓ 中長期的な旅行市場の変化を踏まえると、沖縄を訪れる観光客の地域内の交通手段は、今後も一定程度のレンタカー需要は残る一方で、これまで以上に「レンタカーを使わない旅行者」が増加し、二次交通の位置づけが高まると推察される。
- ✓ これまでの沖縄観光は、レンタカーや大型観光バスによる移動を前提としてきたが、「レンタカーを運転できない者が、来訪を諦めている」という機会損失も想定されることから、二次交通の整備により、取りこぼしていた需要獲得も期待される。
- ✓ 交通事業者を取り巻く環境として、バス、タクシー事業者では、運転手の高齢化や人手不足、利用客数の減少等から、今後の事業継続への懸念がある。
- ✓ 県内では近年、行政を主体として、観光客の公共交通利用の促進を目的とした二次交通の利便性向上に向けた取組やレンタカーを利用しない旅の情報提供等、各種事業を進めているが、「路線バス降車後の観光スポットへの移動」や「観光スポット間の円滑な移動」といった地域交通のいわゆる「ラストワンマイル」においても、利用者目線に立った利便性や機動性を向上させる取り組みが必要。
- ✓ 加えて、「路線バスの利用が困難な旅行者」が周遊する「バリアフリーな移動手段」等、“多様な二次交通サービスの提供”がこれまで以上に求められる。
- ✓ そこで、本調査では、「ポストコロナ時代に車（レンタカー）を利用しない観光客が、沖縄観光を楽しむための移動手段」について、旅行者側のニーズや事業者の動向等をもとに検討し、今後の沖縄観光施策への一助に資すること及び観光関連事業者や交通事業者への情報発信・情報提供を行うことを目的とする。

(2) 調査の全体像

「需要側（旅行者）のニーズ」と「供給側（事業者）の動向」の視点をもとに、以下の調査を実施。



(3) 調査結果

図表 1 【旅行者インタビュー】調査結果概要

- 旅行の計画時における、車を使用しない県内移動情報が不足。特に「子連れの車なし旅行」について、旅行者の実体験に基づく情報が不足
- 沖縄旅行は「車がないと周遊が楽しめない」というイメージが定着
- 車なしの旅行でも、事前に計画を立てていれば、相応の満足感を得られる
- 徒歩 20~30 分程度の距離のスポットにおいて、機動的なラストワンマイル手段の不足により、訪問機会を損失
- Uber のような運転手の顔が見えるライドシェアサービスは、旅行者に一定の魅力がある

図表 2 【WEB アンケート】車での移動が主となる観光地への来訪意向 × 沖縄旅行の同行者

	次に沖縄旅行をする際の同行者 (6区分)							合計 n=649
	夫婦・恋人 n=155	家族 (未就学児 含む) n=50	家族 (未就学児 含まない) n=120	友人 (2~3人) n=142	友人 (4人以上) n=46	ひとり n=136		
その地域に魅力を感じればレンタカーや自家用車で旅行したい	29.7%	40.0%	20.8%	21.1%	28.3%	19.9%	24.8%	
レンタカーや自家用車以外の交通手段で旅行したい	33.5%	48.0%	52.5%	41.5%	41.3%	46.3%	43.1%	
徒歩などで行動できる範囲で旅行したい	16.1%	8.0%	11.7%	14.8%	10.9%	19.1%	14.6%	
そのような地域は旅行先に選ばない	20.6%	4.0%	15.0%	22.5%	19.6%	14.7%	17.4%	

図表 3 【WEB アンケート】旅行前に交通について情報収集する際の不便 × 同行者

	同行者 (6区分)							合計 n=1100
	夫婦・恋人 n=208	家族 (未就学児 含む) n=71	家族 (未就学児 含まない) n=225	友人 (2~3人) n=173	友人 (4人以上) n=78	ひとり n=316	その他 n=29	
時刻表が見つけにくい	19.2%	22.5%	16.9%	19.7%	19.2%	17.7%	13.8%	18.5%
乗り場情報が見つけにくい	21.2%	26.8%	22.2%	19.1%	9.0%	22.5%	13.8%	20.7%
リアルタイムの混雑・運行状況がわからない	17.8%	32.4%	18.7%	22.5%	24.4%	15.5%	10.3%	19.3%
運行会社によって情報がばらばら	16.3%	18.3%	13.8%	10.4%	9.0%	11.1%	0.0%	12.5%
レンタル自転車等の情報がばらばら	6.7%	9.9%	4.9%	4.6%	5.1%	4.7%	0.0%	5.4%
観光地等が公共交通での行き方を掲載していない	8.7%	15.5%	8.4%	3.5%	9.0%	9.2%	0.0%	8.2%
降車場所からの所要時間がわからない	12.5%	18.3%	12.0%	11.6%	5.1%	10.1%	3.4%	11.2%
降車場所からの移動の快適さがわからない	9.1%	9.9%	11.6%	10.4%	7.7%	5.7%	10.3%	8.8%
周遊する際の移動計画が立てられない	11.1%	11.3%	8.9%	10.4%	7.7%	6.3%	6.9%	8.8%
所要時間や金額の比較ができない	10.6%	16.9%	13.3%	12.1%	7.7%	8.5%	6.9%	10.9%
事前予約や事前決済ができない	1.9%	7.0%	1.8%	2.3%	2.6%	1.9%	0.0%	2.3%
その他	0.5%	1.4%	0.4%	0.6%	0.0%	0.3%	0.0%	0.5%
不便に感じたことは特にない	41.8%	36.6%	47.1%	42.8%	51.3%	53.2%	65.5%	47.3%

図表 4 【WEB アンケート】実際に交通を利用した際の不便 × 同行者

	夫婦・恋人	家族 (未就学児 含む)	家族 (未就学児 含まない)	友人 (2~3人)	友人 (4人以上)	ひとり	その他	合計
	n=208	n=71	n=225	n=173	n=78	n=316	n=29	n=1100
一次交通からの乗り継ぎが悪い	18.3%	18.3%	13.3%	15.0%	15.4%	20.3%	10.3%	16.9%
宿泊施設から飲食店等に行く手段がない	8.2%	22.5%	11.1%	7.5%	5.1%	7.9%	3.4%	9.2%
行きたい観光地への便数が少ない	24.0%	23.9%	20.4%	26.0%	20.5%	24.1%	6.9%	22.9%
行きたい観光地の近くに停留所がない	15.4%	14.1%	10.2%	11.0%	5.1%	13.0%	13.8%	12.1%
時刻表通りの時間に来ない	5.3%	11.3%	8.4%	6.4%	5.1%	7.6%	3.4%	7.1%
移動に関して相談できる相手がない	6.3%	15.5%	9.3%	6.9%	5.1%	5.4%	3.4%	7.2%
悪天候時の利便性が悪い	10.1%	11.3%	10.2%	8.1%	11.5%	6.3%	3.4%	8.7%
小さい子供がいると利用しづらい	3.4%	29.6%	4.4%	2.3%	2.6%	2.5%	0.0%	4.7%
体の不自由な同行者がいると利用しづらい	5.3%	5.6%	6.2%	2.3%	2.6%	0.6%	0.0%	3.4%
大きい荷物があると利用しづらい	13.5%	23.9%	16.4%	20.8%	21.8%	12.0%	20.7%	16.3%
他人と同乗すること（3密）が気になる	7.2%	12.7%	4.4%	4.0%	9.0%	4.7%	3.4%	5.8%
運転手の態度・マナーが悪い	3.8%	4.2%	3.6%	1.2%	3.8%	2.5%	0.0%	2.9%
カード決済に対応していない	4.3%	7.0%	7.1%	6.9%	9.0%	7.0%	3.4%	6.5%
スマホ決済に対応していない	3.4%	5.6%	6.7%	5.8%	6.4%	7.0%	3.4%	5.8%
交通系アプリのダウンロードが面倒	1.4%	4.2%	1.3%	0.6%	1.3%	1.9%	0.0%	1.5%
その他	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.5%
不便に感じたことは特にない	40.9%	28.2%	41.3%	40.5%	48.7%	45.9%	58.6%	42.5%

図表 5 【WEB アンケート】沖縄で利用したいラストワンマイル※の手段 × 沖縄旅行の同行者

	次に沖縄旅行をする際の同行者（6区分）							n=649	
	夫婦・恋人	家族（未就学児 含む）		家族（未就学児 含まない）		友人（2~3人）	友人（4人以上）		
		n=155	n=50	n=120	n=142				
電動でないレンタサイクル	21.3%	14.0%	21.7%	21.8%	23.9%	30.9%	23.1%		
電動のレンタサイクル	43.2%	32.0%	35.8%	36.6%	26.1%	41.2%	37.9%		
カーゴバイク	5.8%	22.0%	9.2%	4.2%	4.3%	6.6%	7.4%		
電動カート	10.3%	14.0%	13.3%	7.7%	15.2%	9.6%	10.8%		
セグウェイ	11.0%	16.0%	10.8%	10.6%	13.0%	11.8%	11.6%		
レンタルの原付・バイク	4.5%	4.0%	7.5%	3.5%	10.9%	5.1%	5.4%		
レンタルの電動キックボード	4.5%	6.0%	4.2%	5.6%	15.2%	3.7%	5.4%		
観光スポットの巡回バス	36.1%	40.0%	34.2%	33.8%	34.8%	26.5%	33.4%		
地域のコミュニティバス	30.3%	34.0%	23.3%	25.4%	26.1%	19.9%	25.7%		
トウクトウク	16.1%	20.0%	15.0%	11.3%	15.2%	11.8%	14.2%		
タクシー・ハイヤー	24.5%	32.0%	34.2%	25.4%	15.2%	17.6%	25.0%		
UberやDiDi等	6.5%	10.0%	9.2%	6.3%	6.5%	6.6%	7.2%		
徒歩で移動する	41.3%	32.0%	39.2%	44.4%	39.1%	44.9%	41.4%		
その他	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.5%		

※30分程度の移動（例：飲食店に行く、コンビニや買い物に行く、次の観光スポットに移動する等）」をラストワンマイルと定義した

図表 6 【WEB アンケート】旅行先の移動で重視すること（5段階評価） × 同行者

	夫婦・恋人 n=208	家族 (未就学児 含む) n=71	家族 (未就学児 含まない) n=225	友人 (2~3人) n=173	友人 (4人以上) n=78	ひとり n=316	その他 n=29	合計 n=1100
3密回避	3.76	3.76	3.82	3.68	3.62	3.51	3.83	3.68
安全性	4.03	4.11	4.14	4.09	4.04	3.84	4.03	4.01
乗換え無し	3.73	3.87	3.78	3.61	3.71	3.60	3.83	3.69
安価	3.97	3.97	4.02	4.03	4.05	4.07	4.28	4.03
快適	4.04	4.00	4.09	3.91	3.81	3.83	4.17	3.95
時間通り	3.95	3.93	3.95	3.95	3.85	3.94	4.10	3.94
短時間移動	3.64	3.72	3.64	3.68	3.72	3.49	3.69	3.62
待時間少	3.81	3.97	3.86	3.80	3.83	3.72	3.79	3.81
衛生面	3.83	3.79	3.90	3.80	3.97	3.66	3.93	3.80
個室空間	3.19	3.37	3.44	3.27	3.31	3.02	3.45	3.23
大スペース	3.31	3.62	3.48	3.42	3.51	3.16	3.59	3.36
他者運転	3.53	3.62	3.58	3.54	3.49	3.45	3.76	3.53
有意義な情報提供	3.63	3.73	3.57	3.64	3.71	3.38	3.52	3.56
手続きの簡素化	3.72	3.69	3.79	3.77	3.67	3.67	3.76	3.72
有意義に過ごす	3.63	3.68	3.66	3.67	3.62	3.60	3.79	3.64
環境配慮	3.09	2.99	3.17	3.06	3.32	2.93	3.17	3.07
プレミア感	3.14	3.06	3.22	3.06	3.01	2.84	3.10	3.05
ユニークな仕様	3.05	3.08	3.20	3.06	3.28	2.94	3.10	3.07

図表 7 【事業者ヒアリング】調査結果概要

【ワンマイル交通導入の便益】

- ワンマイル交通サービスの導入は、今まで行けなかった場所に行けるという点で、移動の総量を増加させているため、新たな経済効果を生むことに寄与している
- トウクトウクや電動キックボードは、移動そのものが楽しめる、まさに沖縄に合ったサービスとして打ち出せる。また、これらの乗り物はホテルや観光協会、レンタカー事業者等での導入（納品）も増えている
- マイカーやレンタカーから公共交通への転換は環境に優しいという側面もある。「環境に優しい旅をする沖縄」を打ち出す一環として、車以外の旅行を促進するブランディングは必要であり有効

【需要獲得のための新たな取組】

- タクシー配車アプリは若年層による利用が多い
- 直近ではタクシーの相乗りサービスが解禁されており、当社で携わった相乗り実証実験の結果でも概ね旅行者の抵抗感は低く、お得に移動できる手段となっている。配車アプリのデータ活用等も含め、新たな取組によって、利便性を高めるとともに、企業としても収益性を高め、業界の至上命題である「若い世代の運輸業への就業」にもつなげたい

【連携による可能性】

- 地域との連携や交通サービス同士の連携は地域としても事業者としてもポテンシャルがあり、観光客の利便性も向上させるため、今後の連携も視野に入れている

- AI オンデマンド交通は、観光地での導入も可能であるとともに、地元事業者が運行を担うため、利用者の利便性向上に寄与するとともに、地域のバス、タクシー事業者の安定収入（収益多角化）につながる

【オンデマンド交通と制度面】

- 自由経路型の AI オンデマンド交通(mobi)は、全国 9 都市で展開しているが(2023 年 2 月現在では 11 都市)、道路運送法第 21 条における期間限定の「実証実験」による運行としている

(4) まとめ

図表 8 調査結果と提言骨子の対応

